

女子部

広島研修旅行

竹上尚子

2011年より毎年実施していた広島研修旅行は、新型コロナウイルス感染対策により20年は中止し、21年度より再開した。コロナ禍対応のため、ガイドラインを作成し、それらに則るかたちでの実施となった。

【2021年度】

2021年度は10月26日(火)～28日(木)までの2泊3日で研修旅行を実施した。前年度はコロナ禍でやむなく旅行は中止し、オンライン開催となったが、この年は学校としても感染対策について検討を重ね、105回生たちの「現地に行ってお勉強したい」という強い思いが叶って、実施することができた。

例年と大きく異なった点は、以下の3点である。

- ①3泊4日を2泊3日の広島地域のみに変更したこと。
- ②ガイドラインを作成し、保護者の同意書をもって旅行参加としたこと。
- ③現地ではソーシャルディスタンスに配慮し、学園外の方との接触をしない方向で計画を立てたことである。

そのため大久野島の戦跡めぐりはガイドなしで行い、碑めぐりはすべて生徒の調べ学習と教員の説明で補うようにした。また柳川良子さんの被爆証言は、前年に映画監督の瀬藤さんに依頼して制作したビデオを現地で見ることとし、広島友の会との交流はZoomでつなぎライブで実施した。

直接、現地の方からお話を伺うことは叶わなかったが、生徒からは「学べる喜び」の声が多く聞かれた。現地で学ぶことで、より身近に考えられたという感想も聞くことができた。

【2022年度】

2022年度は10月24日(月)～26日(水)まで、2泊3日で研修旅行を行った。コロナ禍であるという点では2021年度と同様であったが、ガイドラインに沿った形で、現地での案内をお願いし、友の会と交流することは解禁となった。

1日目はガイドの山内さんの案内で大久野島をめぐり、毒ガス資料館と戦跡を見学した。

2日目は平和記念資料館を見学、広島友の会との碑めぐり、そして森重昭さんご夫妻からお話を伺い、3日目は本川小学校を見学して帰路についた。

森重昭さんは長年にわたって、被爆した米軍捕虜の一人一人の消息について調べてこられ、本の出版もされている。以前オバマ大統領が来日し、広島を訪れた際に抱き合う姿が報じられた。奥様が広島友の会会員でもあるご縁で、貴重なお話を伺うことができた。

このクラス(106回生)は入学以来、宿泊学習がなかったクラスであり、この旅行を楽しみにしていた。実際、楽しむ部分と、学びの部分をしっかり体験する3日間となった。生徒リーダーは「自分たちの身近な場所から平和の輪を広げていくことが、世界を平和にしてく第一歩だと思う」と締めくくっている。この学びがひとつの種として、未来に育っていくことを願っている。